

市長	副市長	局長	次長	係長	係	記録

【所属名：ガス水道局】

【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

開示

一部開示

(理由:条例第 条第 号 該当)

不開示

時限不開示 (開示: 年 月 日)

## 会 議 録

作成日 令和4年7月4日

日	令和4年7月1日(金)	時間	13:25 ~ 14:50	場所	糸魚川浄化センター2階会議室
件名	協議事項 (公開)				
	議事 (1) 令和3年度事業報告について ・放流水水質試験 ・公共用水域水質試験 ・内水面水質試験 ・臭気調査 ・臭気測定 ・糸魚川浄化センター工事 ・糸魚川浄化センター環境整備 (2) 令和4年度事業計画について ・糸魚川浄化センター工事 (3) 竹ヶ花ガード下臭気対策について ・放流渠清掃作業 (4) その他 ・水洗化率 ・環境保全に関する協定書、付属覚書の変更				
出席者	<b>【出席者】</b> 13人 金子会長、穂苅副会長、比護委員、吉岡委員、水島委員、小林委員、 木村委員、渡辺委員、田村委員、樋口委員、岩崎委員、木嶋委員、吉田委員 <b>【事務局】</b> 5人 樋口局長、鍋島係長、田代係長、太田主査、林主査 <b>【同席】</b> 2人 糸魚川二幸				
	傍聴者定員	無		傍聴者数	0人

### 会議要旨

- 1 開会 (13:25) 進行 田代係長
- 2 あいさつ 金子会長、樋口局長
- 3 議 事

(1) 令和3年度事業報告について (説明:事務局、臭気調査は樋口委員)

- ・放流水水質試験
- ・公共用水域水質試験
- ・内水面水質試験
- ・臭気調査
- ・臭気測定
- ・糸魚川浄化センター工事
- ・糸魚川浄化センター環境整備

#### 【質疑・意見】

- (委員) 臭気調査でいつも臭っている場所（竹ヶ花川放流口）以外は、日によってまちまちである。いつも臭っている場所は、常に3以上の強度の感じがする。水はきれいだが臭いがたまっているのではないかと？
- (事務局) 水質は良いが水温が高くなっている。
- (委員) 栄養も多いのか？
- (事務局) 生活排水を処理した水なので、栄養価は高くなっている。
- (会長) 水質検査の頻度が2カ月に1回となっているが、水質が良くなってきたのなら3カ月に1回とかでも良いのではないかと？
- (事務局) 公共用水域の水質検査については、下水道への接続率も上がってきたことから、どこで測っても同じような数値が出ると思われる。回数を減らす、止めるという部分は、地元の方の考えもあるので、その辺りの意見を伺いたい。
- (委員) 水質検査に掛かる費用はいくら位か？
- (事務局) 浄化センターの維持管理委託料全体の中に入れて行っているのですが、単体での金額は、今日のところは出してきていない。
- (委員) 水質検査の目的をどうとらえているのかが重要である。
- (事務局) 水洗化率が上がるにつれ、どう変化するのか把握するためのものであったが、現状では他の要因で上がり下がりする状況となっている。
- (委員) 環境保全という観点からもどうすべきか検討が必要とは思いますが、いままでどおり実施してもらいたい。
- (委員) 水質試験の結果をどこかに公表しているのか？
- (事務局) この数値は、この会議のための非公表データである。
- (委員) 公共用水域の横町の11/10の大腸菌の数値が上がっている。雨水が原因なら心配である。
- (事務局) 試料をとる水路の流量が少なく、水がたまりがちであったためと考えている。
- (委員) 水量が減ったら大腸菌が増えるのは、人的な要因かどうかも含めて問題である。その辺の分析もお願いしたい。
- (委員) 竹ヶ花川末流の数値が高いところもあるので調査してもらいたい。
- (委員) 数値が上がる原因が分かれば、水質調査を止める話もできる。
- (事務局) 異常値の原因がつかめるかどうかはわからないが、調査してみたい。異常値の報告が上がってくれば、その都度確認を行うようにする。
- (委員) 公共用水域の水質試験は相当な範囲を検査しているが、他の浄化センターもそうなのか？

(事務局) 青海浄化センターでは、放流先河川の水質検査を行っているが、他の浄化センターや集落排水の処理場は、法定の検査のみを行っている。

(委員) 放流水水質試験の資料で、月別流入量の12月1月が多くなっている。何か理由があるのか？

(事務局) 冬場は不明水が多くなる。これは雪解け水や消雪の水の流入が原因と考えられる。これにより水温が下がってしまうので、菌の活性が落ち、BODの数値等にも影響が出ている。

(2) 令和4年度事業計画について(説明：事務局)

- ・糸魚川浄化センター工事

【質疑・意見】

特になし。

(3) 竹ヶ花ガード下臭気対策について(説明：事務局)

- ・放流渠清掃作業

【質疑・意見】

特になし。

(4) その他(説明：事務局)

- ・水洗化率
- ・環境保全に関する協定書、付属覚書の変更

【質疑・意見】

(委員) 覚書は、まだやっていなかったのか。振興協議会長が会議を招集し決定をして、その後すぐに交わしたものと思っていた。

(事務局) こちらの保全会議で説明してからと考えていた。本日報告できたので、至急手続きを進めたい。

(委員) 今年度は、この一回で終了という事で良いか。

(事務局) その予定です。

(委員) 浄化センターの耐用年数はどれくらいか？

(事務局) 法定の数字でいえば、建築物は50年である。機械や電気の設備は15年だが、実用的には1.5倍くらい使用できるよう定期的なメンテナンスが必要になる。

7 閉会(14:50)